

## 平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	清掃管理課
課名	環境衛生課

予算	款	項	目	決算書		目名	事務事業名称
	4	2	4	134	頁		
				清掃センター費			一般廃棄物処理事業

1. 概要

目的	一般廃棄物の適切な処理	対象	市民全般及び 臼杵市野津町市民
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般廃棄物処理事業…一般廃棄物の適切な処理とごみの減量化           <p>豊後大野市内1,236箇所、臼杵市野津町(旧野津町)261箇所に出された各種ごみ(可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・有害ごみ・資源ごみ)を収集し、また、搬入されたごみを清掃センター施設において、焼却処理(可燃ごみ処理能力25t×2炉×16H/日)や分別後資源化処理(不燃・粗大ごみ処理能力22t×5H/日)するため事業を行った。</p> <p>【処理実績】 可燃ごみ(10,350t)、粗大ごみ(608t)、不燃ごみ(200t)、資源ごみ(1,936t)、プラスチック(517t)</p> </li> <li>○ 一般廃棄物処理施設整備事業…安定した一般廃棄物処理のための施設の修理及び更新           <p>機器の修理・交換等を行い、施設の延命化を図り、廃棄物の適正な処理に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみステーション等データ化事業…緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業。各収集車両にGPS及び積載量センサーを取り付け、収集ルートの確認及び町内ごとのごみ排出量の調査を行い、収集経路、各ステーションのごみ量等をデータベース化して、合理的な収集コースの作成を行い収集台数の削減検討を行った。</li> </ul> </li> </ul>		

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	ごみ処理の適正化、ごみの減量化		目標年度	H27	指標の設定理由			
		数値	186kg/人・年			総合計画／後期基本計画において、基本施策(2-2-1)の目標としているため			
活動指標	指標	a	維持管理の適正化	b	ごみ分別の推進	c	公害対策と施設の基幹改良	d	外部委託の検討・見直し
		数値	目標	経常経費の削減	目標	市民の意識啓発を図る	目標	CO2の3%削減	目標

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
ごみ処理の適正化、ごみの減量化	kg	197.0 kg	200.0 kg	204.5 kg
		94.4 %	93.0 %	90.9 %

## 4. 課題と対応

課題
人口は減少しているもののごみの排出量は横ばいである。ごみの質的多様化とこれを処理する施設能力の低下が懸念されている。ダイオキシン類への対応強化を含め、廃棄物処理施設の充実が課題である
対応（改善点等）

循環型社会形成めざし、ごみの分別徹底を推進するとともに、大規模改修を図り、施設の性能を回復させ、CO2の排出量削減を図る

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 維持管理の適正化	千円	311,246 千円	302,955 千円	298,159 千円
—	—	—	—	—
b ごみ分別の推進	回	12 回	12 回	12 回
c 公害対策と施設の基幹改良				
d 外部委託の検討・見直し				

## 5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

決算額（千円）	H21	H22	H23	H24
	444,678	387,406	411,391	368,711
うち経常経費	311,246	302,955	298,159	316,972
財源内訳	国費			2,588
	県費		35,668	
	市債			
	その他	149,629	162,256	156,301
	一般財源	295,049	225,150	219,422
	うち経常	179,120	151,357	141,858
事業費に係る人件費	70,398	72,265	70,950	70,847

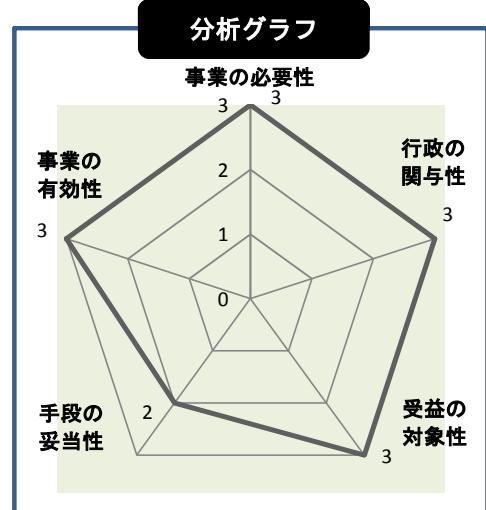
## 6. H25年度予算の方向性

方向性
増額
理由

平成25年度から3カ年事業でごみ焼却施設基幹的設備改良事業に取り組み、施設の性能を初期の性能水準まで回復させる

## 7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠	
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	事業の必要性が高い	
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により、市が実施主体であることが定められている	
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	広く市民に享受できている	
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2	目的達成のために適切な手段であるが、今後、検討の余地がある	
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	1人当たりのごみ量は増えており、ごみ減量化の達成には難しいものがあるが、ごみ処理の適正化の取り組みがでています	



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	施設長寿命化計画を策定の上、施設改修を計画的に実施すること。